

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2693000099		
法人名	特定非営利活動法人エイチアンドイーグループ		
事業所名	グループホーム だいのじ(1F)		
所在地	京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下18-1		
自己評価作成日	平成25年3月18日	評価結果市町村受理日	平成25年11月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成25年3月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・ごく静かな住宅街に位置し、穏やかに過ごせる地域環境にある ・シンプルな内観をしており、利用者及びスタッフとも内部を一望でき、どこの誰がいるかを容易に把握できる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当該事業所は開設後間もなく、掃除も行き届き清潔に保たれています。随所にソファを設置し利用者が思い思いの場所でゆっくりと寛いで過ごせるよう配慮しています。利用者と職員の間は良好で季節毎の作品や食事作りも協働し楽しみながら行っています。職員間のコミュニケーションもとられており利用者の思いを汲み取り意向に沿ったケアが出来るよう職員間で話し合いながら日々の業務にあたっています。利用者の趣味や楽しみ事を引き出しカラオケや喫茶店など個々の思いを大切にした個別支援にも取り組んでいます。。また、外出支援にも力を注ぎ動物園や、花見、紅葉狩り、初詣等多彩な行事を実施し利用者が楽しみながら活き活きと過ごせるよう努めています。日々の散歩や買い物にも出かけ近隣の方と挨拶を交わすなど地域との関わりも少しずつ進めている事業所です。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	そのように努力している	開設後日が浅く、まず職員の意識統一を図ることが大切であると考え、管理者は折に触れて利用者が家庭的な環境の中で可能な限り自立した生活を送れるように支援することを職員に伝えています。	理念は事業所の柱となるものであり、職員がそれを目標とし日々の業務に携われるように職員と話し合いを持ち、事業所独自の理念を作成されることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	そのように努力している	日々の散歩時に近隣の方と挨拶を交わしたり、近くの店に花や野菜を買いに出かけています。隣の老人施設の祭りに参加したり喫茶店にも出かける施設の利用者との交流も図っています。近隣からは入所に関する問い合わせもあり、相談があれば応じるようにしています。	地域の回覧板や運営推進会議等で地域の行事などの情報を得て利用者と一緒に参加するなど、更に地域との交流が深まるよう検討されてははいかがでしょうか。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在その方向性はない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	そのように努力している	会議は、自治会長、民生委員、行政の職員、地域包括支援センター職員等の参加を得て2ヶ月に1回開催しています。ホームの状況報告や意見交換を行い、出てきた意見を受け職員間で検討し改善に向けて取り組んでいます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	そのように努力している	運営推進会議の議事録を管理者が直接市役所へ届け、担当者にホームの状況報告をしたりアドバイスをもらうなど、何かあれば相談できる関係が築かれています。行政の職員が出席する地域密着型事業所の会議にも参加し、情報収集や関係構築に努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束はない	管理者は折に触れて身体拘束について話し合い職員に周知し、常に拘束のないケアに心がけています。玄関は夜間以外は施錠せず、外に出たい様子が見られた場合は体制が整っていれば一緒について行き、出来る限り閉塞感のないケアに努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	そのように努力している		

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ活用までは至っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	そのように努力している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	そのように努力している	家族の来訪時や電話で要望や意見を聞くようにしています。出された要望は個々に対する内容のものが多く職員間で検討し、できることは改善に向けて取り組んでいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	そのように努力している	個人面談や職員会議の場で意見や提案を聞くようにしています。管理者は職員からの提案等をできるだけ採用するよう配慮し、前もって会議の議題に挙げてほしい内容を聞き、会議の中で話し合うようにしています。介護に関する内容のものが多く、出された意見は業務改善等に反映させるよう努めています。また日々の業務の中で出てきた意見はその都度、管理者に伝えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	そのように努力している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在研修はOJTのみとなっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会議には積極的に参加している		

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	そのように努力している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	そのように努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのように努力している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	そのように努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	そのように努力している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	そのように努力している	来訪や訪問等、利用者の友人との行き来もあり、職員がその関係が継続できるようお茶を出すなど快い受け入れや付き添いの支援をしています。また自宅の植木の手入れに帰ったり、以前によく行っていたカラオケ店や喫茶店などにも行けるよう支援しています。墓参りなど利用者の思いを家族に繋げ協力を依頼したり、家族が行けない場合は職員が付き添う等、希望に応じて可能な限り対応しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	そのように努力している		

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	そのように努力している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	そのように努力している	利用者や家族から趣味や生活歴、意向等を聞きアセスメントシートに記入し職員間で共有しています。日々の会話や表情からも思いを汲み取り本人の意向に添うよう職員間で検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	そのように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	そのように努力している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	そのように努力している	利用者、家族の意向やアセスメントシートを基に介護計画を作成しています。3ヶ月毎に職員が聞き取り内容を伝え計画担当者がモニタリングを行い、6ヵ月毎に再アセスメントを行い計画の見直しをしています。見直し前には管理者や計画担当者の出席するサービス担当者会議を行い、往診時の医師の意見等も反映させ見直しに繋げています。	モニタリングの内容が記載された書面がなく内容が分かりにくいので、統一した様式を検討され、計画に沿った具体的な内容の記載をし計画と連動したモニタリングとなるよう工夫されてはいかがでしょうか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように努力している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのように努力している		

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	そのように努力している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	そのように努力している	入居時にかかりつけ医を継続出来ることを説明し多くの利用者が今までのかかりつけ医を継続しています。主に家族が受診同行をしていますが必要に応じて職員が同行することもあり、互いに受診報告を行っています。協力病院は月に2回の往診があり、24時間連絡がとれる体制になっており、適切な医療支援に努めています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職は現在いない		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように努力している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアは実践していない	入居時に重度化の指針について契約書に沿って説明しています。医療行為が必要となれば、事業所では支援できないことを伝えると共に、他施設等への転居に向けての話を進めています。現時点では看取りの経験はありませんが、場合によっては家族の意向を尊重し検討しながら方針を決めていくことも視野に入れて考えています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練には至っていない		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	現在まだ話し合いに至っていない	年2回夜間想定で通報、初期消火の訓練を事業所独自で行っています。今後、訓練の案内を運営推進会議の議題に挙げる予定としています。	消防署指導の下で実施する訓練についても検討していかれてはいかがでしょうか。

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	そのように努力している	管理者は折に触れて利用者の尊厳やプライバシーについて話をしています。日々のケアの中で気になる言動があれば、その都度管理者が声をかけたり職員同士で注意し合うようにしています。また、その時々に対応が適切だったのかどうかについても職員間で話し合いを持っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	そのように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	そのように努力している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	そのように努力している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	そのように努力している	献立は管理者が考え、ユニット毎に利用者の好みを聞きながらアレンジしています。食材はネットスーパーで宅配をもらったり、利用者と一緒に買いに出かけています。野菜を切ったり、皮を剥いたり、テーブル拭きなど出来ることに携わってもらい、家庭的な雰囲気の中で職員と共に食卓を囲んでいます。また、外食や出前も取り入れながら食事が楽しみなものとなるよう工夫をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのように努力している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	そのように努力している		

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	そのように努力している	個々の排泄記録を基に排泄パターンを把握し、声かけや誘導を行っています。適切な誘導を継続することで、トイレでの排泄が出来つつある利用者もおられ、快適な生活へ繋げるよう取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	そのように努力している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	そのように努力している	入浴準備は毎日行い3日に1回を目途に主に午後から入ってもらっています。湯は毎回交換し、衛生面や清潔にも心がけ、個人持ちのシャンプーやリンスを使用したり、柚子湯など季節のお風呂も取り入れ、心地よい入浴になるよう配慮しています。また、その日の状況に応じて足浴や掛け湯に変更するなど柔軟に対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	そのように努力している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	そのように努力している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	そのように努力している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	そのように努力している	日々の散歩や近所への買い物以外にも動物園や季節毎の花見、紅葉狩り、初詣など外出行事も多彩に計画し、家族にも声掛けして出かけています。また希望に応じてカラオケ店や喫茶店など個別の外出支援も行っています。	

グループホーム だいのじ(1F)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	そのように努力している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのように努力している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	そのように努力している	リビングは大きな窓からの採光で明るく、掃除が行き届き清潔感のある空間となっています。ソファや加湿器の設置等で快適に寛ぎながら過ごせるよう配慮したり、利用者同士の関係性にも配慮しテーブルの席の変更を行う等居心地良く過ごせるように工夫しています。また季節毎に貼り絵や塗り絵など利用者の作品を飾り、温かい雰囲気作りが成されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのように努力している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	そのように努力している	入居時に使い慣れたものを持って来て貰うように伝え、冷蔵庫やタンス、いす、加湿器等を持参されたり、編み物や家族の写真等を貼りその人らしい居室になるよう工夫をしています。ベッドや布団も生活習慣や好みにより選んでもらっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そのように努力している		